

令和7年度

事業実施概要報告書

松寿会理念

—あなたの笑顔に出会いたい—

- (1)思いやりの介護サービスを通して地域福祉に貢献します。
- (2)利用者さまの人格、尊厳、自由を尊重し、安心安全で快適な生活を支えます。
- (3)利用者さまの心に寄り添い、生活リズムを大切に、その人らしい生活を支えます。
- (4)質の高いサービス提供をめざし、自己研鑽に務めます。
- (5)職員が誇りを持ち、働きやすい職場環境づくりに務めます。
- (6)無駄を省いて効率化を図り、安定した経営に務めます。

社会福祉法人松寿会

目 次

	頁
I. 本部	
1. 令和7年度まとめ	1
2. 年間行事・諸会議開催状況	2
II. 施設の概要	
1. 建物の規模および構造並びに設備の概要	3
2. 職員の状況	3
III. 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)松寿苑	
1. 令和7年度まとめ	4
2. 施設入所者の状況	
(1)市町村別利用状況	5
(2)要介護度別入苑者数	5
(3)年齢構成	6
(4)在苑期間	6
(5)入退所者の状況	
(イ)入所前の生活場所 (ロ)退所理由	7
(6)利用負担限度額の状況	8
(7)障がい老人の日常生活自立度状況	9
(8)認知症老人の日常生活自立度状況	10
(9)入苑者の入院状況	
(イ)疾病別入院者数 (ロ)疾病別入院日数	11
(10)年間利用状況	12
3. 年間行事、余暇活動実施状況	13
4. 給食の実施状況	
(1)入苑者の食事状況	14
(2)検食実施状況	14
(3)栄養摂取状況	14
5. 行事食等献立一覧	15
6. リハビリテーション実施状況	16
7. ボランティア活動状況	17
8. 研修受け入れ状況	17
9. 職員研修状況	18,19
IV. 松寿苑デイサービスあ・うん	
1. 令和7年度まとめ	20
2. 令和7年度月別利用状況	20
V. 居宅介護支援事業所松寿苑	
1. 令和7年度まとめ	21
2. 令和7年度月別ケアプラン作成件数	21
VI. 事故およびヒヤリハット発生状況	
○ 特養	22～23
VII. 身体拘束状況	24
VIII. 苦情受付状況	25
付表 入苑待機状況	26

I. 本部

1. 令和7年度まとめ

令和7年度は、『やらなくて後悔するなら、チャレンジしよう』をスローガンに、一人一人が失敗を恐れず、何事にも積極的に取り組んで行くことを目標に、1年間の事業を行った。

第一に研修体制の充実である。人手不足もあり、研修は苑内のみで外部研修の受講ができなかった。他の施設職員と情報を交換することは有意義であり、今後は、年間受講計画を立て可能な限り学びの機会を提供したいと考える。また、来年度より3等級一般職の職員が中心となり、後輩の育成や研修の運営を担うこととする。

第二に積極的な多職種連携の取り組みである。人員の少ない状況で如何に効率的に細やかなケアが可能かを念頭に取り組みを行った。主に食事介助、特浴の介助が中心の取り組みであるが、出来るだけ多くの目で利用者様の観察や、身体状況の把握をすることは重要であり、職員の連携感も生まれた。

第三に地域貢献である。地域に根差した施設として、地域との結び付き、交流が大切であると考え、十分な検討、実践が不十分であった。来年度は、難しく考えるのではなく、今の苑の状況に基づき、何が地域の人々のお役に立てるのか考え、小さな一歩から始めたいと考える。

第四に防災、事業継続、感染症対策の見直し、業務改善、設備管理である。予知不能の災害に対し、定期的な訓練や研修を受け、いざという時の知識はある。しかし、利用者様の生活を継続を考える時、未だ十分な訓練が不足していることが、現在の課題である。全職員で継続して課題に取り組み緊急時に萎えたい。また、感染症対策では、小浜病院の感染症専門の先生に来ていただき有意義であった。業務改善については、毎月生産性向上委員会を開催し、各ユニット、各部署備品の置き場所等を統一にした、応援、異動があっても困らないで、即対応ができるようになったことは成果である。

また、設備管理では、近年の異常気象に伴うエアコンの不調対策に対し空調設備改修計画を立て順次重要な項目から改修を行う計画を立てた。

令和7年度は物価高騰の中で、一人一人が経営に対して、如何に無駄を省いて効率化を図り安定した経営に努めるかの意識を持って業務にあたる1年であった。今後とも、安定経営と地域に愛される施設として更なる発展を目指し、全役職員一丸となって事業に取り組めます。

2. 年間行事・諸会議開催状況

実施年月日	行 事 ・ 会 議	内 容 事 項
R. 7. 5. 20	監事による会計監査	6年度事業執行状況及び会計監査
R. 7. 6. 4	第173回理事・監事 合同役員会	令和6年度事業報告及び収支決算認定 新理事、監事の選任 顧問の委嘱
R. 7. 6. 20	定時評議員会	令和6年度収支決算認定 新理事、監事の選任 令和6年度事業報告(報告)
R. 7. 12. 12	第174回理事・監事 合同役員会	令和7年度第1次補正予算(案) 定款の一部追加 職員就業規則の一部改正 臨時職員就業規則の一部改正 職員給与規程の一部改正 指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 指定短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正 ユニット型指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 ユニット型指定短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正 指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正 理事長の職務執行状況報告 令和7年度介護保険施設等特養短期の運営指導の結果(報告) 令和7年度社会福祉法人に係る指導監査の結果(報告) 来年度からの設備等の改修電気代の徴収 等級制度(案) 次回の理事会開催日
R. 8. 3. 18	第175回理事・監事 合同役員会	指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 指定短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正 ユニット型指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 ユニット型指定短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正 カスタマーハラスメントに対する行動指針ハラスメント防止規程 旅費規程の全面改定 令和7年度第2次補正予算(案) 令和8年度事業計画(案) 令和8年度予算(案) 定時評議員会の招集

Ⅱ. 施設の概要

1. 建物の規模および構造並びに施設・設備の概要

敷地面積	9, 8 6 5. 8 2 m ²		
建物の面積	建築面積	2, 6 9 8. 2 8 m ²	
	延床面積	4, 4 9 8. 5 9 m ²	
	(本体	4, 3 8 5. 5 7 m ²)	
建物の構造	RC造、2階建		
施設の概要	特別養護老人ホーム（ユニット型個室）		6 0 床
	〃	（多床室）	3 0 床
	短期入所生活介護事業所（ユニット型個室）		空床型
	〃	（多床室）	空床型
	デイサービス		3 0 名
	〃	（介護予防・日常生活支援総合事業）	5 名
	居宅介護支援事業所		
設備の概要	空調冷暖房、エレベーター、全館放送設備		
	ナースコール、特浴（1）、個室（3）、中間浴（5）		
	各ユニット・多床室・デイサービスに調理設備		
	リハビリ器具（トレーニングマシン（4）・レッドコード（6）		
	平行棒）		
防災設備	スプリンクラー、消火用散水栓、自動火災報知機		
	非常火災通報装置、誘導灯、非常電源設備、避難用すべり台		

2. 職員の状況（R8.3.31現在）

	特養		デイ サービス	居宅介護 支援	合計	備 考
	多床室	ユニット				
施設長（管理者）	1名			1名	2名	
生活相談員	4名		1名	—	5名	社会福祉士5名
看護職員	6名		2名	—	8名	正看護師5名パート3名
介護職員	21名	42名	7名	—	70名	介護福祉士49名 パート21名
介護支援専門員	2名		—	2名	4名	2名は兼務
機能訓練指導員			1名	—	1名	PT1名
管理栄養士	1名		—	—	1名	
運転手	—		2名	—	2名	パート2名
事務員等	4名				4名	パート2名
実 員	92名	正職員63名 嘱託・臨時等（常勤）2名 パート27名				

※ 介護支援専門員… 居宅介護支援は管理者と兼務

Ⅲ. 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)松寿苑

(多床室30床、ユニット型60床)

1. 令和7年度まとめ

「サービスの質の確保、入居者本位のサービス提供」については、入居者一人一人が主体的に日常生活を営むことができるよう、入居者、家族の意向を反映した介護サービス計画書を作成し実施した。

安全確保とリスク対策については、リスクマネジメント委員会を中心としヒヤリハット報告書を活用し対策を検討してきた。また本年度も、苑内研修でも事故対策について検討した。

人材育成については、本年度も苑内研修はオンラインを用いた2部制で行った。各委員会が主体となり研修を主催、運営してきた。外部講師を招いて、感染症対策や褥瘡予防に関する研修を実施した。

新型コロナウイルス対策については、4月に5名の方が罹患したが、隔離や感染対策をおこなうことで、早期に終息を迎えることができた。

看取り介護については、8名の方がご家族や職員の見送りの中、人生最後の瞬間を慣れ親しんだ当苑で迎えられた。より良い支援につなげて行くため、また職員の意識向上のために看取り後の振り返りカンファレンスを継続して行った。

家族交流については、10月に松寿苑祭を開催した。新型コロナウイルス感染症以後、交流が持てない状況であったが、会食も含めてご家族との交流を持つことができた。

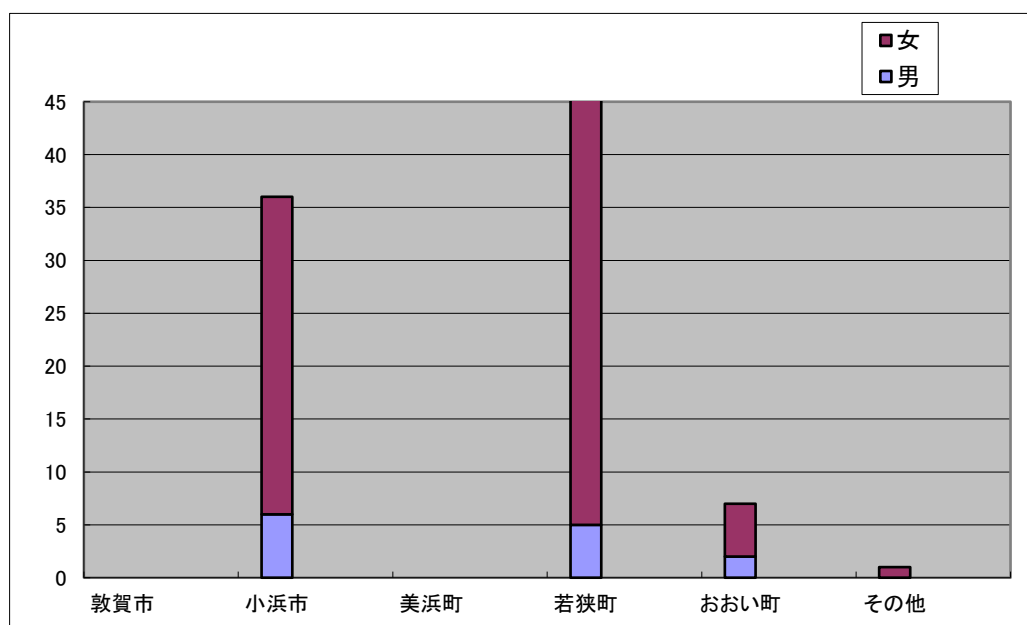
業務改善については、今年度から生産性向上委員会を開始し業務改善に取り組んだ。例えば、各ユニットの配置や業務手順を統一することで職員のスムーズな異動につなげることができた。

令和7年度の稼働率については、目標の96.9%に比べて95.3%で、達成できなかった。今年度より主任一人体制にして、連携を取りやすい形にしたことでスムーズな受け入れが可能となったが、入院期間が長引いたことと、昨年度末から発生した新型コロナのクラスターが影響したことが要因として考えられる。また、空所型ショートステイの年間延べ日数が113日と、積極的に受け入れたが入院期間の穴を埋めるには至らなかったことも課題として挙げられる。今年度より、協力医療機関である上中診療所と公立小浜病院との連携会議を開始した。利用者の情報共有を行うことにより担当者の顔が見える関係作りができつつあり、今後は入退院の調整や空所利用のスムーズな受け入れが期待できる。以上のことを踏まえて、年度末に作成した重点目標を軸として、今後多くの要介護者の受け皿として地域に貢献していきたい。

2. 施設入苑者の状況

(1) 市町村別利用状況

(令和8年3月31日現在)

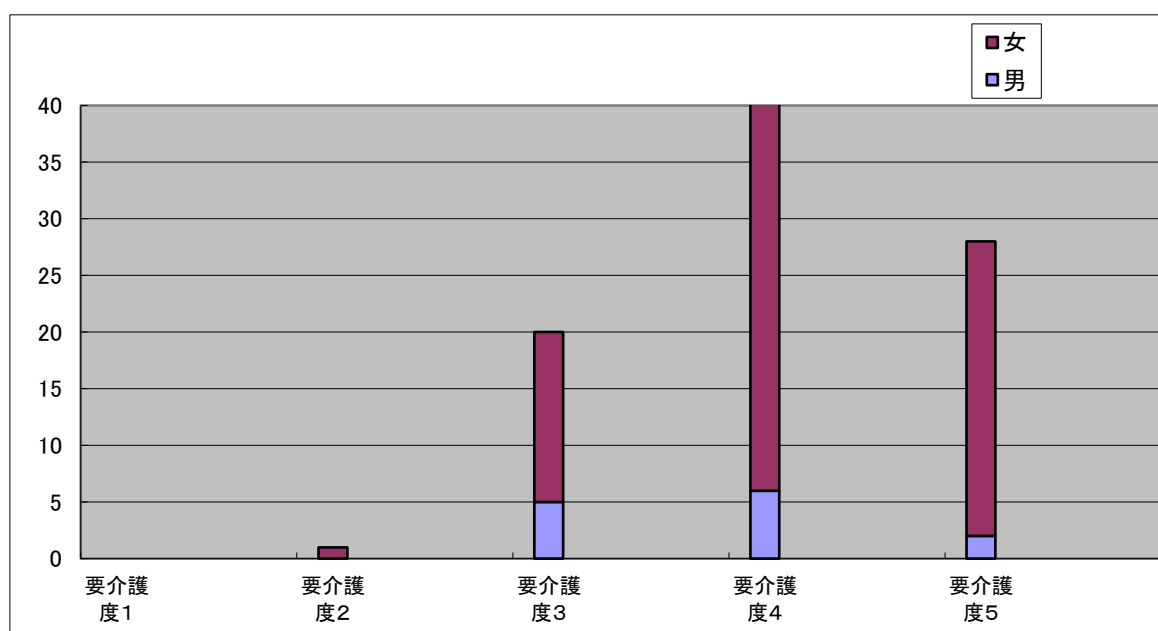


	敦賀市	小浜市	美浜町	若狭町	おおい町	その他	合 計
男	0	6	0	5	2	0	13
女	0	30	0	41	5	1	77
計	0	36	0	46	7	1	90

(2) 要介護度別入苑者数

平均介護度 4.1

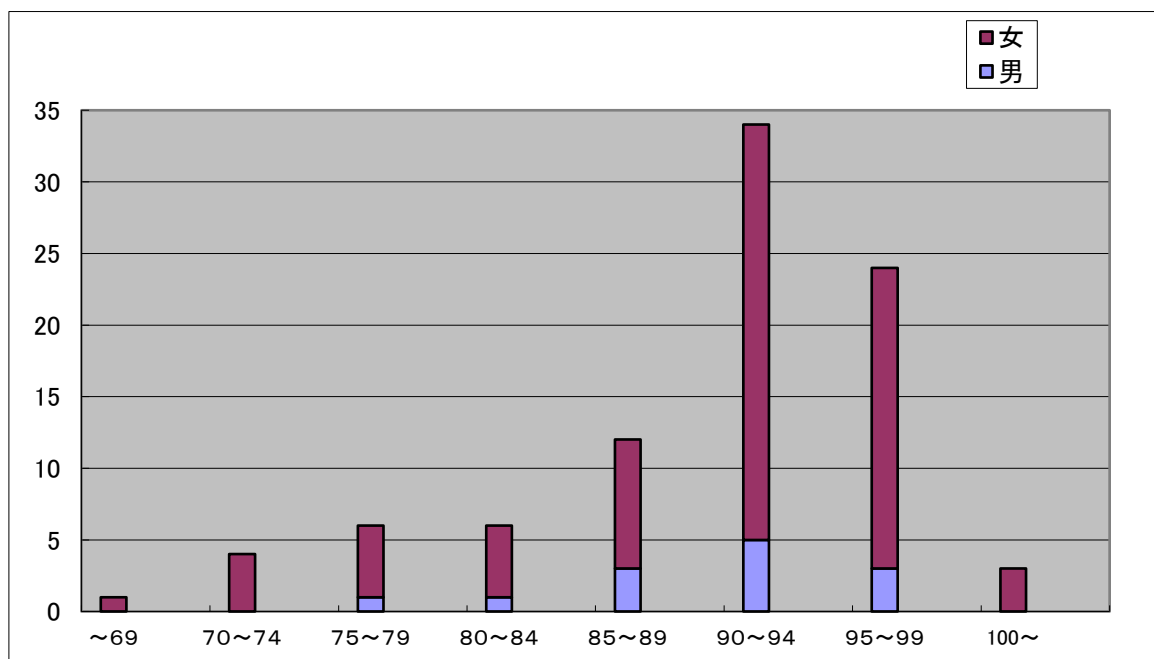
(令和8年3月31日現在)



	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合 計
男	0	0	5	6	2	13
女	0	1	15	36	26	77
計	0	1	20	42	28	90

(3) 年齢構成

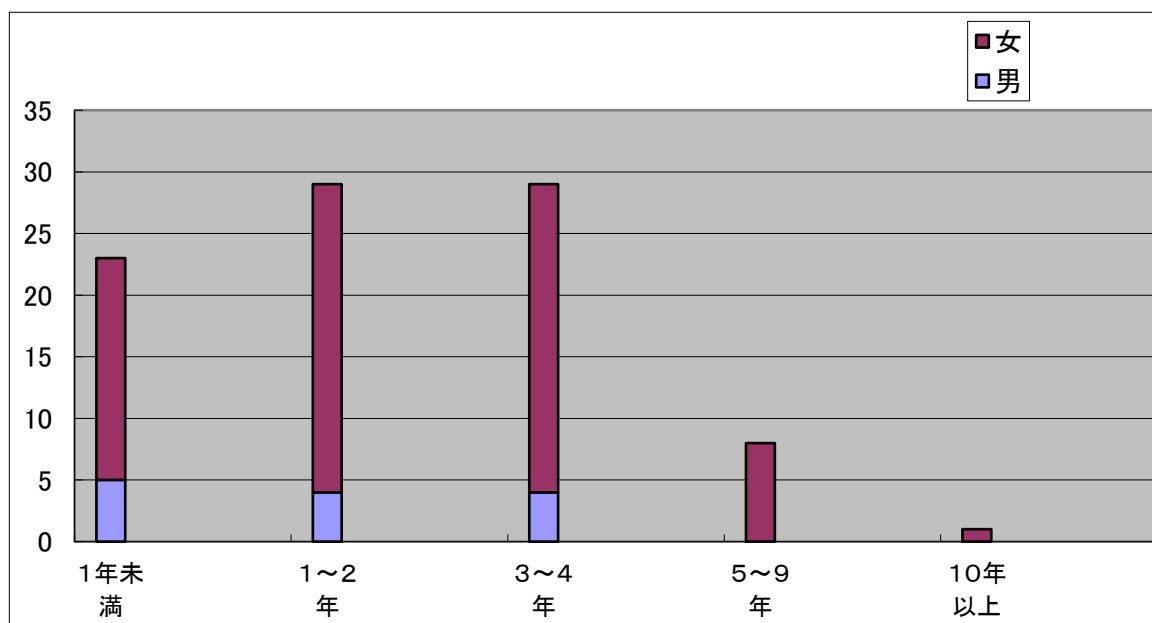
平均年齢 男 90.8歳 女 90.7歳 総数 90.7歳（令和8年3月31日現在）



	~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合 計
男	0	0	1	1	3	5	3	0	13
女	1	4	5	5	9	29	21	3	77
計	1	4	6	6	12	34	24	3	90

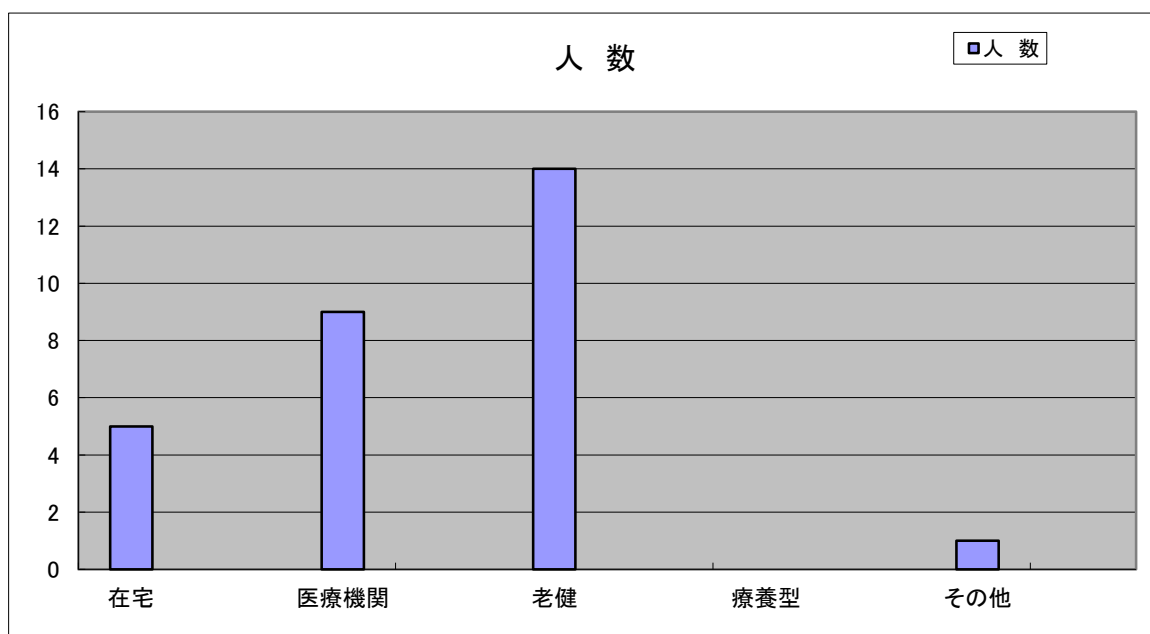
(4) 在苑期間

平均在苑期間 男 2年 女 2年 9か月 総数 2年 8か月（令和8年3月31日現在）



	1年未満	1~2年	3~4年	5~9年	10年以上	合 計
男	5	4	4	0	0	13
女	18	25	25	8	1	77
計	23	29	29	8	1	90

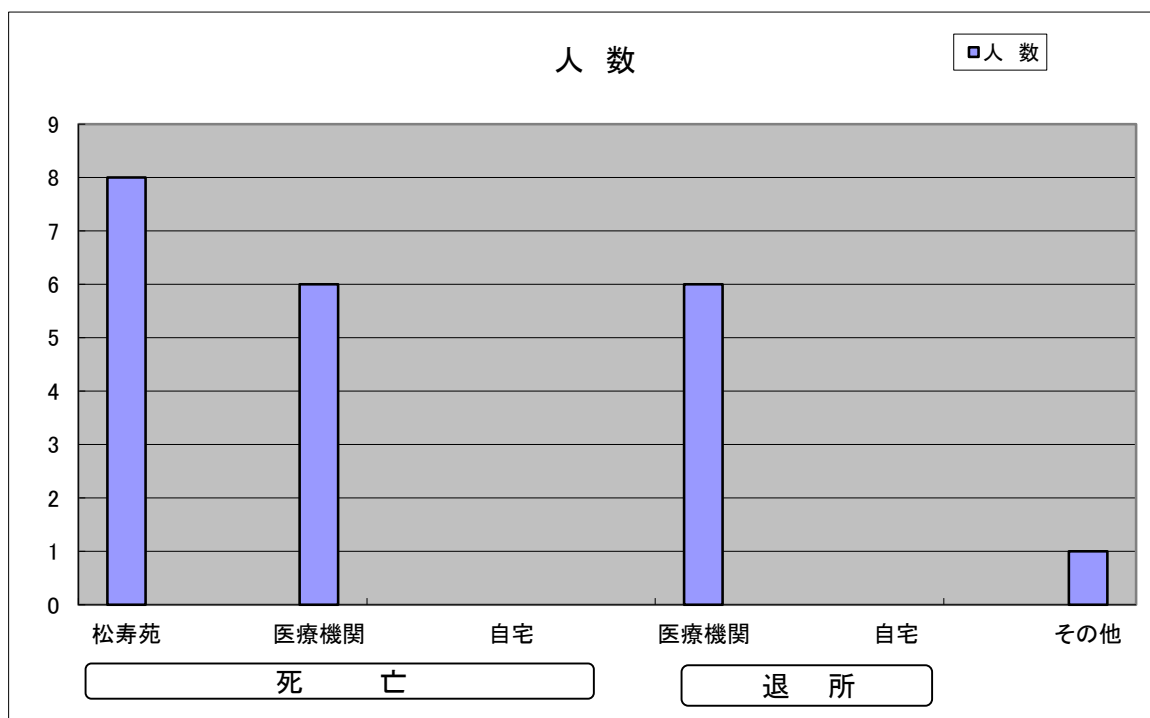
(5)入退所者の状況(令和7年度)
(イ)入所前の生活場所



	入 所 前 の 生 活 場 所				
	在宅	医療機関	老健	療養型	その他
人 数	5	9	14	0	1

(有料老人ホーム含)

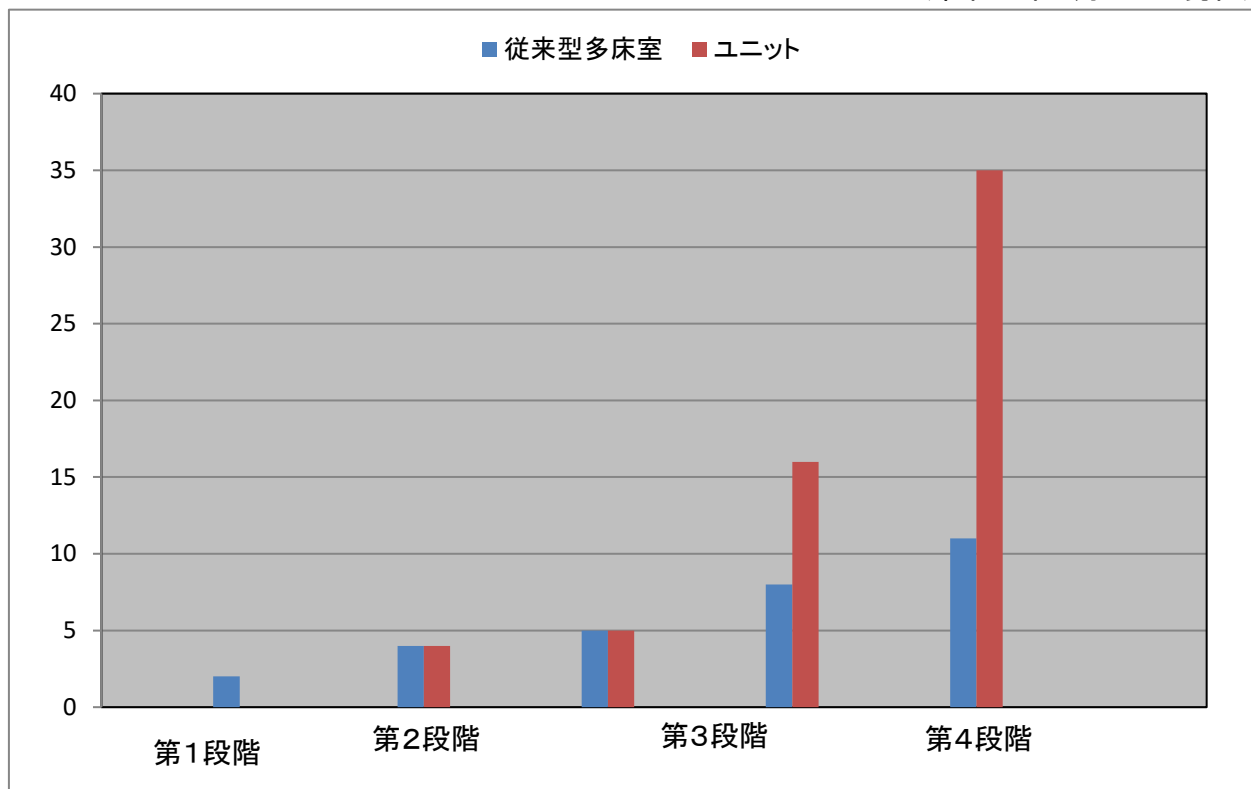
(ロ)退所の理由



	死 亡			退 所		
	松寿苑	医療機関	自宅	医療機関	自宅	その他
人 数	8	6	0	6	0	1

(6) 利用料負担限度額の状況

(令和8年3月31日現在)



	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
従来型多床室	2	4	5	8	11
ユニット	0	4	5	16	35

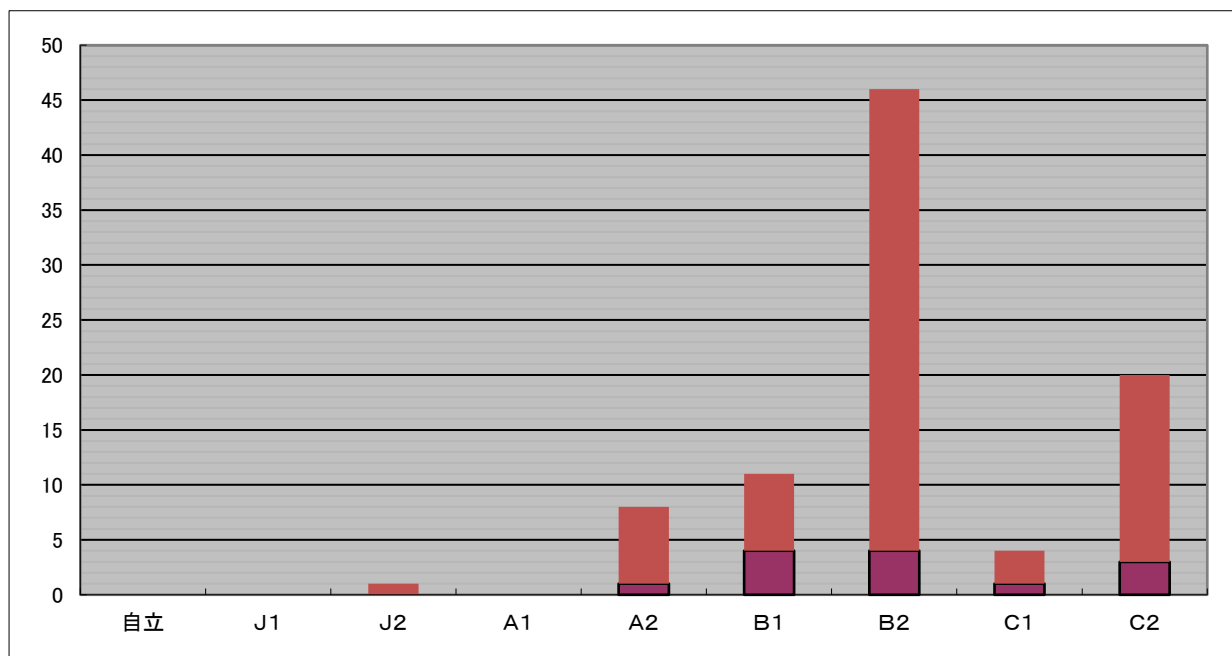
各段階の自己負担額は、以下のように設定されております。()内は補足給付額

段 階	食費(円)	居住費(円)		適 用 条 件	
		ユニット	多床室		
第1段階	300(1,145)	880(1,186)	430(485)	生活保護受給者 老齢福祉年金受給者	市町村民税 非課税世帯
第2段階	390(1,055)	880(1,186)	430(485)	収入額80万円以下	
第3段階①	650(795)	1,370(696)	430(485)	収入額80万円超～120万円以下	
第3段階②	1,360(85)	1,370(696)	430(485)	収入額120万円超～266万円以下	
第4段階	1,800	2,130	1,000	上記以外の方 (負担額は各施設で設定)	市町村民税 課税世帯

自己負担額との差額は、補足給付として保険者(市町)から給付されます。
(給付限度額は、食費1,800円、居住費ユニット2,130円、従来型多床室1,000円となっています。)

(7)障がい高齢者の日常生活自立度(令和7年度)

(令和8年3月31日現在)

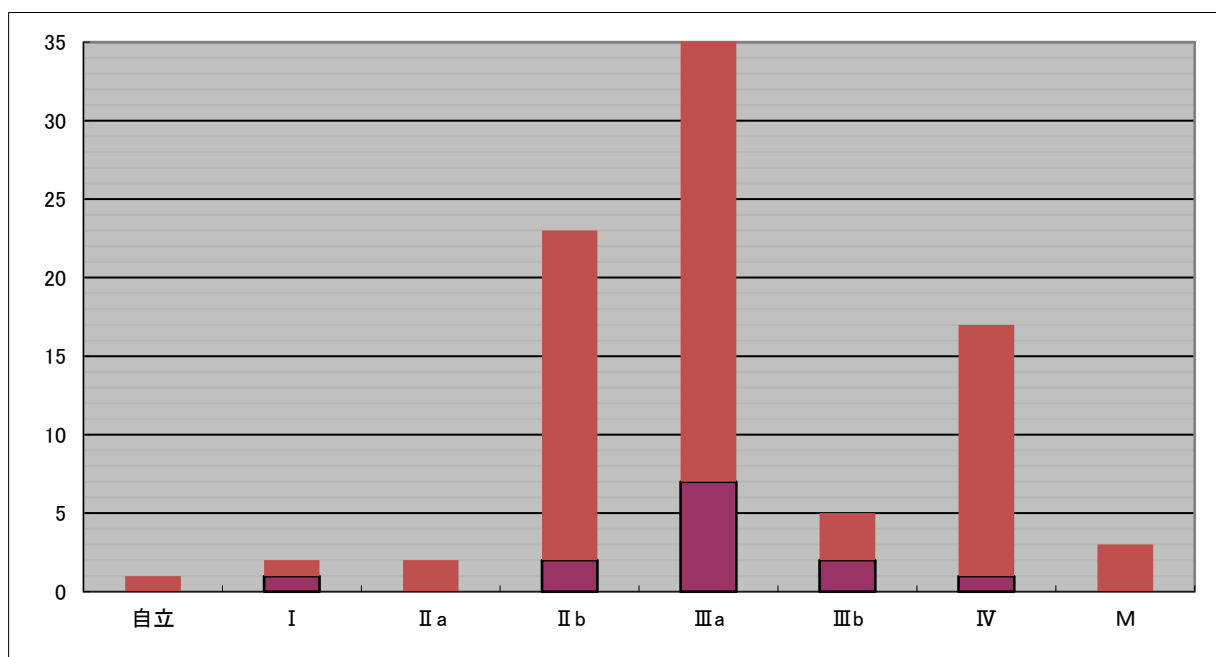


	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
男	0	0	0	0	1	4	4	1	3
女	0	0	1	0	7	7	42	3	17
計	0	0	1	0	8	11	46	4	20

	ランク	生活の場の制限	身体状態の障害等	介護の状況・行動の例
生活自立	J1	独力で外へ出られる	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する	交通機関等を利用して外出する
	J2			隣近所へなら外出する
準寝たきり	A1	家の中で生活	食事・排泄・着替えに関しては概ね自分でやり、近所に外出する時は介護者の援助を必要とする	介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する
	A2			外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	B1	室内での移動は車椅子での生活	座位を保ち、一日の大半をベッド上で過ごす。食事・排泄・着替えのいずれかはベッドから離れる	介助なしで車椅子に移乗する
	B2			介助のもと車椅子に移乗する
	C1	ベッド上での生活	一日中ベッドの上で過ごし、食事・排泄・着替えのいずれにおいても介護者の援助が必要	自力で寝返りできる
	C2			自力では寝返りできない

(8) 認知症高齢者の日常生活自立度(令和7年度)

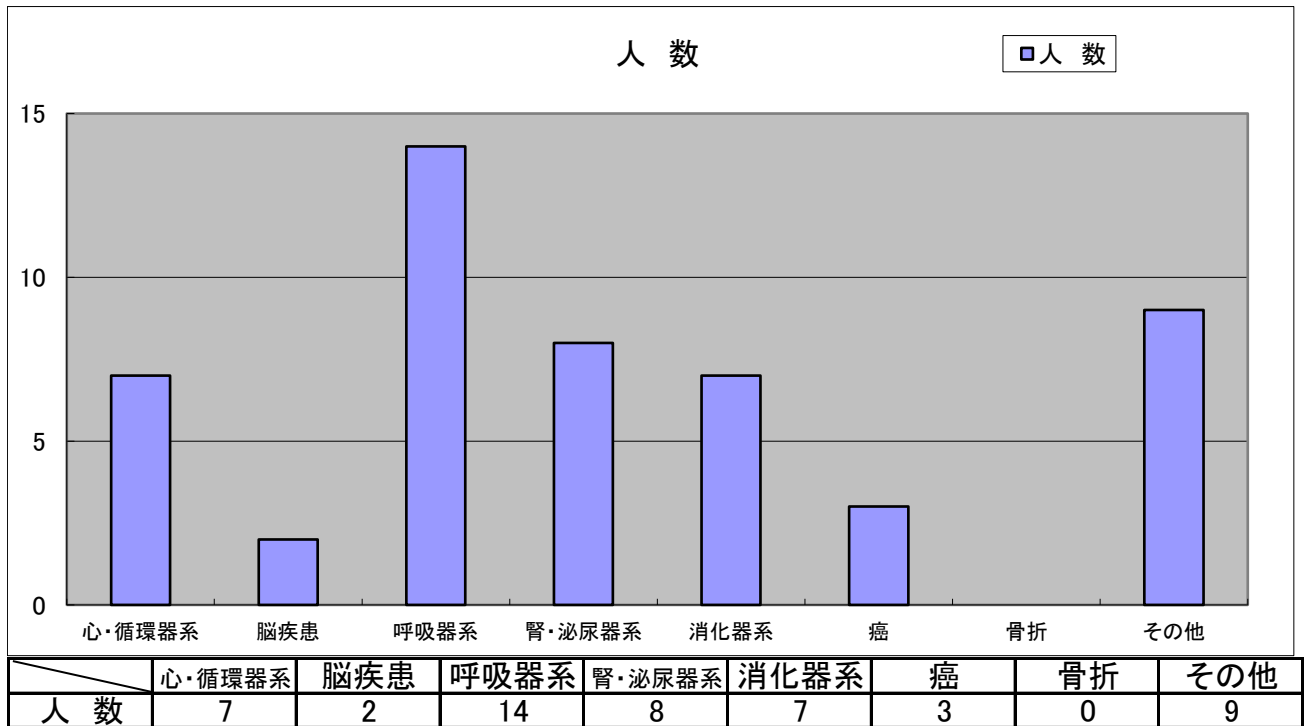
(令和8年3月31日現在)



	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
男	0	1	0	2	7	2	1	0
女	1	1	2	21	30	3	16	3
計	1	2	2	23	37	5	17	3

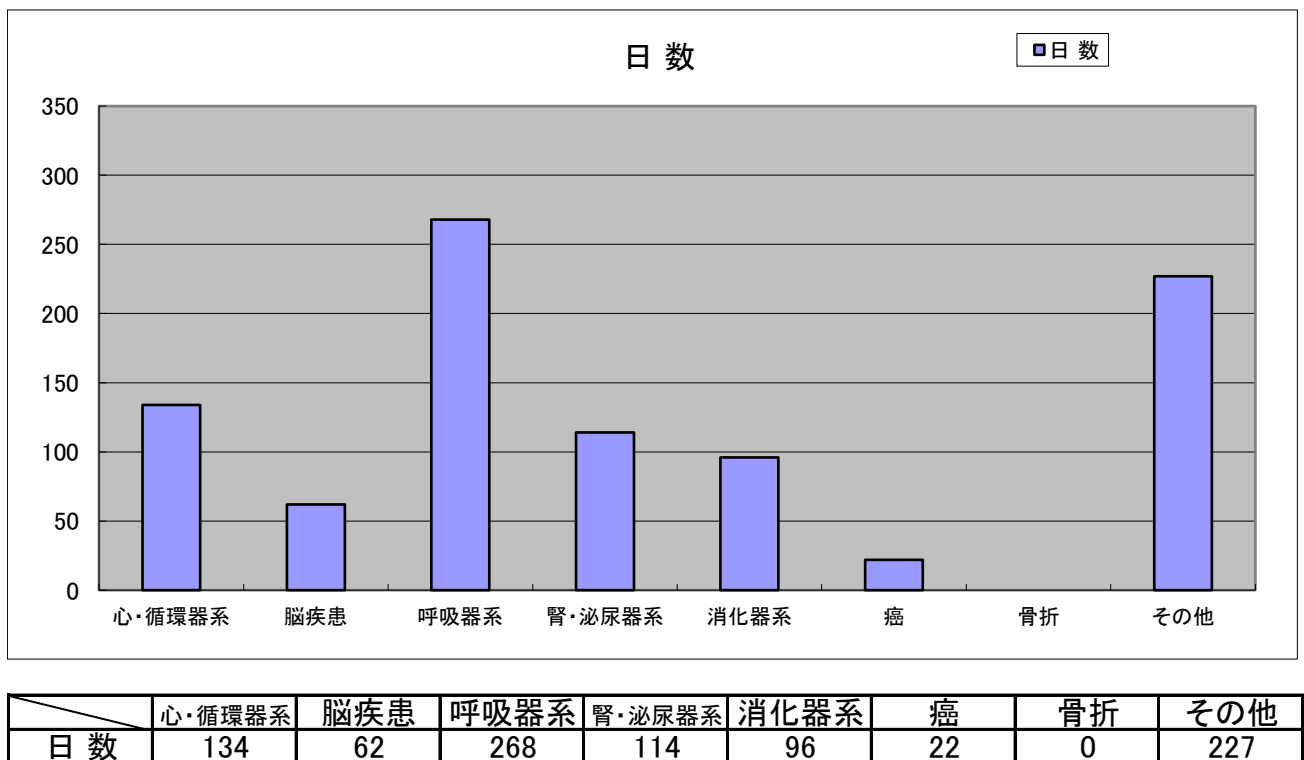
ランク		判断基準		見られる症状・行動の例
I		ほぼ自立でひとり暮らしが可能 (日常生活に必要な意思疎通はできる)		
II	II a	IADL低下が見られる 誰かの注意が必要	家庭外で症状が見られる	たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理など、それまでできていたことにミスが目立つ等
	II b		家庭内でも症状が見られる	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応など一人で留守番ができない
III	III a	ADL低下が見られる。ときどき介護が必要	日中を中心に症状が見られる	着替え・食事・排泄が上手にできない、時間がかかる。 やたらにものを口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
	III b		夜間を中心に症状が見られる	
IV		常に介護が必要	IIIより頻回 常に目を離すことができない	
M		日常生活に必要な意思疎通ができない又はまれにしかできない		せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

(9)入苑者の入院状況(令和7年度)
(イ)疾病別入院者数(延50名)

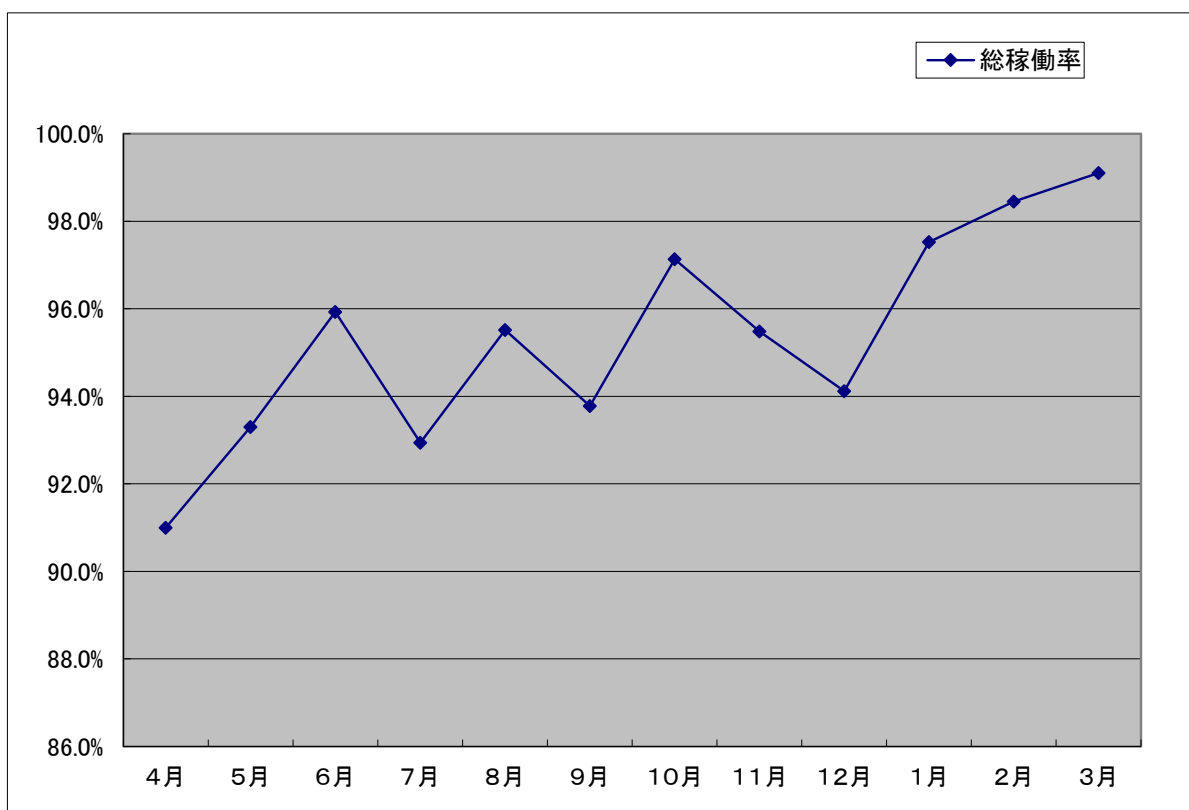


救急車にて搬送… 6回

(ロ)疾病別入院日数(923日)



(10)年間利用状況(令和7年度)



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
多床室	定員総日数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930	10,950
	入院日数	30	70	78	77	90	42	25	25	14	0	13	24	488
	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	空床日数	80	28	0	15	0	63	31	25	31	6	0	0	279
	空床総日数	110	98	78	92	90	105	56	50	45	6	13	24	767
	延入所者数	790	832	822	838	840	795	874	850	885	924	827	906	10,183
	短期空床利用	0	0	0	0	3	0	5	0	0	0	0	0	8
	実利用者数	790	832	822	838	843	795	879	850	885	924	827	906	10,191
	稼働率	87.8%	89.5%	91.3%	90.1%	91%	88%	94.5%	94.4%	95.2%	99%	98%	97%	93.1%
ユニット型	定員総日数	1,800	1,860	1,800	1,860	1,860	1,800	1,860	1,800	1,860	1,860	1,680	1,860	21,900
	入院日数	57	63	6	66	26	1	6	24	80	46	19	1	395
	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	空床日数	86	26	42	46	17	62	29	53	42	43	34	0	480
	空床総日数	143	89	48	112	43	63	35	77	122	89	53	1	875
	延入所者数	1,657	1,771	1,752	1,748	1,817	1,737	1,825	1,723	1,738	1,771	1,627	1,859	21,025
	短期空床利用	10	0	16	7	5	0	6	5	3	26	27	0	105
	実利用者数	1,667	1,771	1,768	1,755	1,822	1,737	1,831	1,728	1,741	1,797	1,654	1,859	21,130
	稼働率	92.6%	95.2%	98.2%	94.4%	98.0%	96.5%	98.4%	96.0%	93.6%	96.6%	98.5%	99.9%	96.5%
総稼働率		91.0%	93.3%	95.9%	92.9%	95.5%	93.8%	97.1%	95.5%	94.1%	97.5%	98.5%	99.1%	95.3%

3. 年間行事、余暇活動実施状況(令和7年度)

○ ユニット

【さくら通り】(特養・短期入所)

月	日	行 事 内 容
4	9	お花見
12	22	年賀状作成

【なの花通り】

月	日	行 事 内 容
4	9	お花見
7	16	手作りおやつ
10	26	ドライブ
10	28	故郷訪問
12	18	手作りおやつ
2	12	誕生会

【すずらん通り】

月	日	行 事 内 容
4	9	お花見
5	18	手作りおやつ
6	19	手作りおやつ
6	3	誕生会
7	15	手作りおやつ
7	24	手作りおやつ
8	28	手作りおやつ
12	26	手作りおやつ
1	22	手作りおやつ
3	19	誕生会

○ 多床室

【木の実通り】

月	日	行 事 内 容
4	9	お花見
6	17	故郷訪問
8	4	レクリエーション(スイカ割り)
11	18	ドライブ
2	27	誕生会
3	22	手作りおやつ
随時		映画鑑賞

共 通

月	日	行 事 内 容
5	8	花まつり
6	3	入苑者との集い
6	8	子供神輿
8	5	入苑者との集い(盆供養)
10	4	松寿苑祭
12	19	クリスマスコンサート
1	5	年賀式
2	3	入苑者との集い
2	20	デザートバイキング

○ 通所介護

松寿苑デイサービスあ・うん

月	日	行 事 内 容
4	24	紙芝居、講話
4	10	お花見
4	21	手作りおやつ
5	19	買い物外出
5	20	手作りおやつ
5	29	紙芝居、講話
6	18	七夕交流会
6	21	七夕コンサート
8	21	納涼祭
8	22	紙芝居、講話
10	16	紙芝居、講話
10	20-25	運動会
11	18	手作りおやつ
12	25	クリスマス会

※紙芝居、童謡ボランティア

※お楽しみおやつ(毎月)

毎 月	誕生会(各ユニット毎) 手作りおやつ
随 時	レクリエーション (風船バレー、パズル、トランプ 貼り絵、しりとり、将棋等) いきいき活動 (おしぼり・エプロン・洗濯物たたみ 新聞切り・折り等) 外気浴 (苑内外散歩、花見、日光浴等) 音楽 (歌、カラオケ、音楽鑑賞等)

4. 給食の実施状況

(1) 入苑者の食事状況

(令和8年3月31日現在)

① ユニットの食数

	朝食						昼食						夕食					
	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計
普通	16	5	3	1		25	16	5	3	1		25	16	5	3	1		25
一口	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
刻み	17	1	0	6		24	17	1	0	6		24	17	1	0	6		24
ブレンダー	3	0	0	3		6	3	0	0	3		6	3	0	0	3		6
ソフト	2	0	0	3		5	2	0	0	3		5	2	0	0	3		5
注入					0	0					0	0					0	0
小計	38	6	3	13	0	60	38	6	3	13	0	60	38	6	3	13	0	60

② 多床室の食数

	朝食						昼食						夕食					
	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計
普通	1	0	0	0		1	1	0	0	0		1	1	0	0	0		1
一口	8	0	0	2		10	8	0	0	2		10	8	0	0	2		10
刻み	9			4		13	9			4		13	9			4		13
ブレンダー	0	0	0	3		3	0	0	0	3		3	0	0	0	3		3
ソフト	0	0	0	1		1	0	0	0	1		1	0	0	0	1		1
注入					2	2					2	2					2	2
小計	18	0	0	10	2	30	18	0	0	10	2	30	18	0	0	10	2	30

注：軟菜：軟菜食（軟らかく、脂ものが少ない食事） ハーフ：ハーフ食（食事1/2量+補助食品）
 注入：注入食（鼻腔・胃瘻等の流動食）（栄養補助食品のみの食事の方を含める）
 普通：副食普通食、一口：一口きざみ食（1～2cm）
 きざみ：副食きざみ（0.3cm以下）、ブレンダー：ソフト

(2) 検食実施状況

	時 間	検 食 者
朝 食	AM 7:20	前日の宿直者
昼 食	AM 11:40	前日の宿直者（土・日曜日、祝祭日は日直者）
夕 食	PM 5:00	宿直者

(3) 栄養摂取状況

	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (%)	Ca (mg)	Fe (mg)	VA (μg)	食物繊維 (g)	食塩 (g)
基準量	1,500	55	42	650	6.5	800	18g以上	7.5g未満
年間平均	1,503	61	44	941	8	471	26	6.7

5. 行事食等献立一覧(令和7年度)

	行 事 名	献 立 内 容 行事食・手作りおやつ等(一例)
4月	2日	お花見献立
	おたのしみ おやつ	フレンチトースト いちご・カスタードプリン 春の団子・コーヒゼリー
5月	子供の日	ハンバーグプレート・ミニケーキ
	花 祭 り	甘茶
	おたのしみ おやつ	よもぎ団子 サンドイッチ
6月	おたのしみ おやつ	紫陽花ゼリー ワッフル
7月	半夏生 鯖	鯖の塩焼き
	七 夕	散らし寿司・星のハンバーグ・素麺・すいかゼリー
	土用の丑の日	鰻の蒲焼き
	おたのしみ おやつ	じゃがいものおやつ すいか・アイスクリーム
8月	おたのしみ おやつ	夏祭りメニュー・冷やし中華 かき氷
9月	敬老会	赤飯・天ぷらの盛り合わせ 紅白饅頭・梨
	秋分の日	おはぎ
	おたのしみ おやつ	パフェ
10月	創立記念日	赤飯・手作りおはぎ
	おたのしみ おやつ	鬼まんじゅう ハロウィン かぼちゃ羊羹
11月	焼き芋	焼き芋
	おたのしみ おやつ	白玉ぜんざい
12月	クリスマス	モミの木ハンバーグ・サラダ クリスマスケーキ
	冬 至	南瓜の煮物
	年 越 し	年越しそば・天ぷら
	おたのしみ おやつ	プリンアラモード 手作りケーキ
12月	クリスマス	モミの木ハンバーグ・サラダ クリスマスケーキ
	冬 至	南瓜の煮物・柚子和菓子
	年 越 し	年越しそば・天ぷら・かき揚げ
	おたのしみ おやつ	カスタードケーキ バームロール・フレンチトースト 和風パフェ

	行 事 名	献 立 内 容 行事食・手作りおやつ等(一例)
1月	お正月	1日赤飯・おせち ねぎとろ 雑煮
	七 草 粥	七草粥
	お楽しみおやつ	丁稚羊羹 おしるこ
2月	節 分	鯛の梅おろし 鬼除け汁・スイスロール
	バレンタイン	コロツケ・スープ チョコプリン
	ふるさとの日	野木の輝き米・おろし蕎麦
	おたのしみ おやつ	いちごのケーキ スイーツバイキング
3月	桃 の 節 句	散らし寿司・ひな祭り三食ゼリー
	おたのしみ おやつ	いちご モンブランケーキ

ユニット・多床室内での誕生会、手作り昼食やおやつなどのイベント行事の略

※おたのしみおやつ

各ユニット、多床室、デイサービスによって利用者のADLや嗜好、おやつへの取り組み方が違うため、その利用者に喜んでもらえるおやつをみんなで考えてもらい実施する。

6. リハビリテーション実施状況

(令和8年3月31日現在)

生活リハビリ・・・日常生活行為にて機能維持

内訳	効果	対象人数
寝返り、起き上がり、座位保持	筋力及び体幹の安定保持 褥瘡・拘縮予防 立位動作の安定につなげる	22
立ち上がり、立位保持	下肢や体幹の筋力維持と強化 トイレ動作等日常動作の安定 転倒リスク低減と寝たきり予防	27
歩行	下肢筋力や体幹の筋力の維持と向上 生活範囲・活動量の拡大	2
食事	箸使うなど上肢機能の維持・向上 自尊心の維持と意欲の向上 栄養状態や全身状態の改善	22
更衣	手指の動き、肩・肘の可動域、体幹バランス維持 認知機能や段取り力の刺激	20
トイレ	下肢筋力やバランス能力の維持による転倒予防 排泄リズムを保つことでの失禁リスク低下	26

7. ボランティア活動状況

単位:人(令和7年度)

月	シーツ交換	屋内外清掃	演 芸	行事援助	友愛訪問	合 計
4					1	1
5					1	1
6						0
7					10	10
8					1	1
9		11				11
10				1	1	2
11						0
12						0
1						0
2						0
3						0
合計	0	11	0	1	14	26

ボランティア団体名 4/24、5/29、8/22、10/16 堂谷昌考氏(講話)
 6/21 合唱団ラ・フローラ
 9/2 若狭町婦人福祉協議会奉仕作業(施設周辺の草取り)
 10/28 若狭町赤十字奉仕団(タオル寄贈)

8. 研修受け入れ状況

(令和7年度)

年 月 日	内 容	人 数
令和7年7月7、11、14日	老年看護学実習(公立若狭高等看護学院)	6名
令和7年7月22日～25日	介護実習Ⅰ(若狭医療福祉専門学校)	2名
合 計		8名

9. 職員研修状況

(令和7年度)

[illegible]

	研 修 名	研修日	主 催(講師)・内 容 等	参加者数
苑 内	新人研修	4/1	各部門管理者	5
	倫理・理念・基本指針・プライバシー保護	4/23	苑長、副苑長	53
	育児・介護休業法改正について	5/21	國久社労士	49
	排泄ケア・褥瘡対策・おむつの当て方	6/25	小林講師(ユニ・チャーム)	49
	高齢者虐待防止・身体拘束の適正化について	7/23	虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会	39
	リスクマネジメント研修	8/27	リスクマネジメント委員会	40
	感染対策・演習BCP	9/24	公立小浜病院 刀祢先生	40
	看取りの実践・認知症ケア	10/22	eラーニング	40
	リスクマネジメント研修	11/26	リスクマネジメント会議	33
	原子力防災研修	12/24	大下講師(若狭町環境安全課)	25
	感染対策・個人保護具の着用	1/28	感染症対策委員会	23
	高齢者虐待防止・身体拘束の適正化について	1/22	虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会	37
	介護現場にカスハラ対策について	〃	〃	〃
	カスタマハラスメント対策について	3/25	岡本苑長	37
	防犯マニュアルの見直しと防犯訓練	〃	〃	〃

[illegible]

IV. 松寿苑デイサービスあ・うん

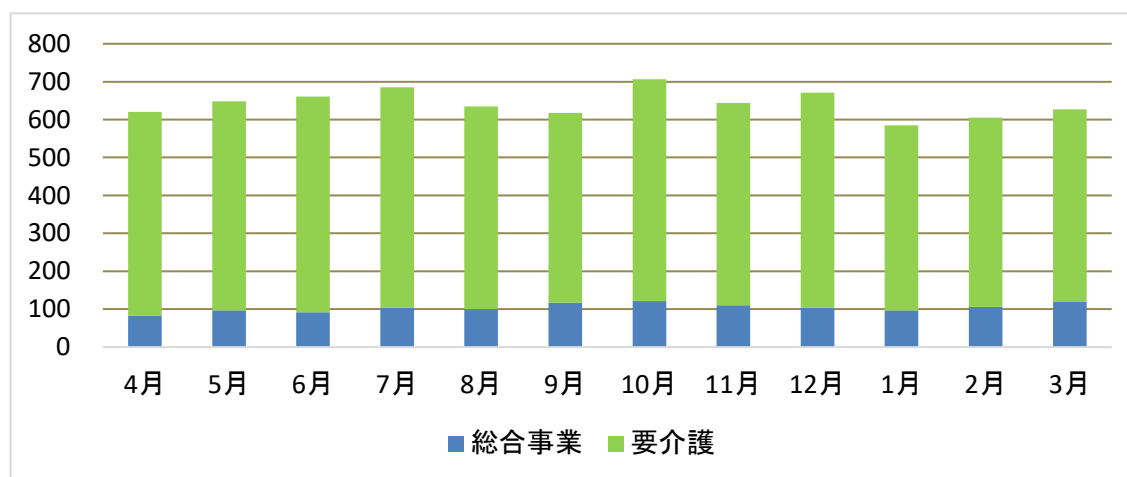
1. 令和7年度まとめ

令和7年度の利用登録者数は、3月31日時点で総合事業の利用者16名、要介護の利用者63名であり、令和6年度と比べると総合事業が4名、要介護が1名増加している。稼働率は総合事業が目標の80%に対し80.9%(R6年度56.2%)、要介護が目標70%に対し69.6%(R6年度65.3%)であり、目標稼働率は、ほぼ達成できた。

新規利用者の獲得には、居宅介護支援事業所への訪問やホームページでの空き情報の提供を行い、利用希望時にはスムーズに開始できるよう心がけた。また、尿道留置カテーテルの管理、インスリン注射など、医療行為の必要な方も積極的に受け入れるなど、様々な利用者を受け入れることで、ケアマネジャーからの新規利用問い合わせが増え、稼働率の向上につながった。

介護サービスについては、デイサービス年間目標の、『おひとりおひとりのQOL(生活の質)の向上を目指そう』に従い行動した。デイサービス利用中は、個々の好みに合った余暇活動、利用者参加型のお楽しみおやつ作り、納涼祭や運動会等の季節行事を取り入れ、楽しい時間を過ごしていただく事で、利用中の質の向上を心掛けた。機能訓練では、利用者ごとの生活環境を把握し、自宅で動きやすくなるような運動を取り入れることで、安全に生活できるようにした。

2. 令和7年度月別利用状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	26	309
事 総 業 合	利用人数	83	97	92	104	100	117	121	110	104	97	106	1,250
	稼働率	63.8	71.9	73.6	77.0	76.9	90.0	89.6	88.0	80.0	80.8	88.3	80.9
要 介 護	利用人数	537	551	569	581	535	501	585	534	567	488	499	6,455
	稼働率	68.8	68.0	75.9	71.7	68.6	64.2	72.2	71.2	72.7	67.8	69.3	69.6
合計	620	648	661	685	635	618	706	644	671	585	605	627	7,705

※介護予防・日常生活支援総合事業総合A型…サービス提供時間 9:00～12:30

※加算状況

利用者数	個別機能加算Ⅰ(1)	入浴介助	認知症加算
6,455	5,086	5,466	2,371
加算率	78.8%	84.7%	36.7%

※ 認知症加算は、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方が対象

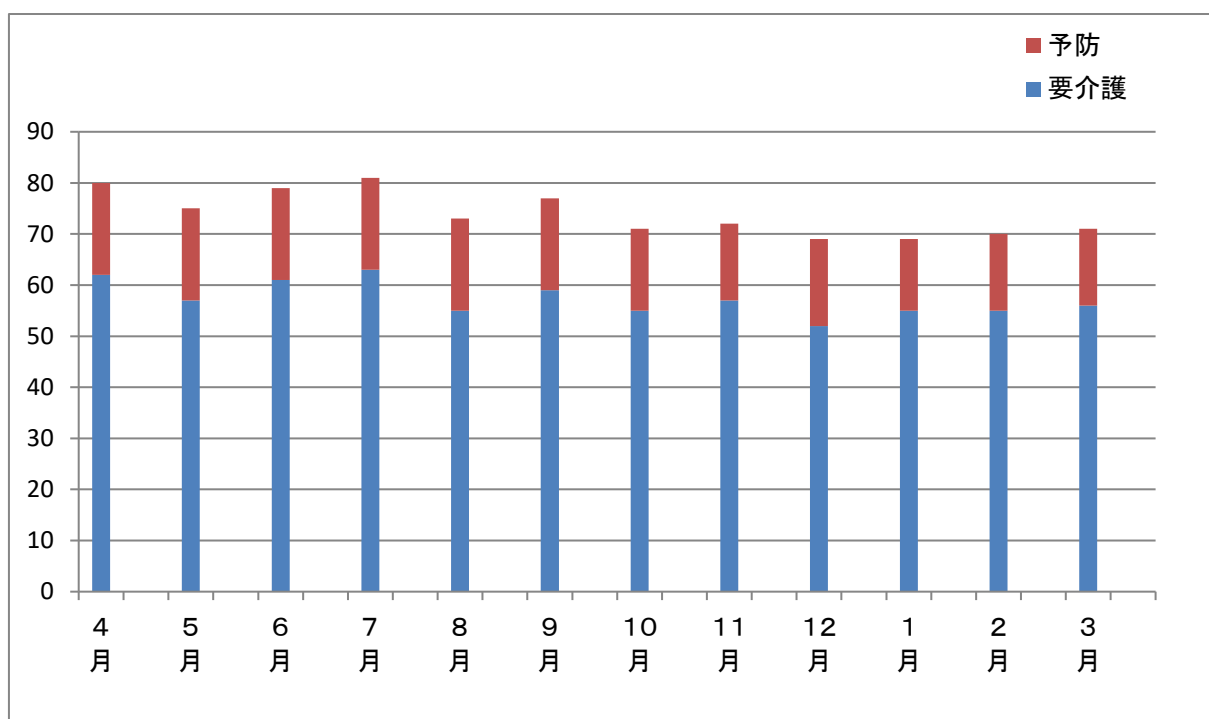
V. 居宅介護支援事業所松寿苑

1. 令和7年度まとめ

今年度は、若狭町の総合事業の委託は前年度と変わらず月平均16名であった。継続して若狭町包括からの委託を受けることができた。令和7年12月まで小浜市からも委託要請があり月平均1名担当させて頂いていたが、永眠されたため令和8年1月より小浜市からの委託はなくなった。今後も委託要請あれば積極的に受けることは小浜市包括にはお伝えしている。

要介護者は月平均57名の実績があった。若狭町近隣では入所施設や入院病床が高齢者に対して多く、在宅介護が困難になると比較的早く入所になる傾向にある。また国が介護予防に力を入れており介護保険を申請する高齢者が少なくなっている。それでも在宅生活に不安を抱えている高齢者やそのご家族は多くいらっしゃるの、地域包括支援センターや各関係機関との連携を取り、介護保険を申請する前から相談にのり少しでも多くの在宅生活をする高齢者やそのご家族に寄り添っていききたい。

2. 令和7年度月別ケアプラン作成件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
介護予防ケアマネジメント	4	4	4	4	4	4	3	3	4	3	3	4	44
予防給付ケアプラン作成	14	14	14	14	14	14	13	12	13	11	12	11	156
小 計	18	18	18	18	18	18	16	15	17	14	15	15	200
要介護	62	57	61	63	55	59	55	57	52	55	55	56	687
合 計	80	75	79	81	73	77	71	72	69	69	70	71	887

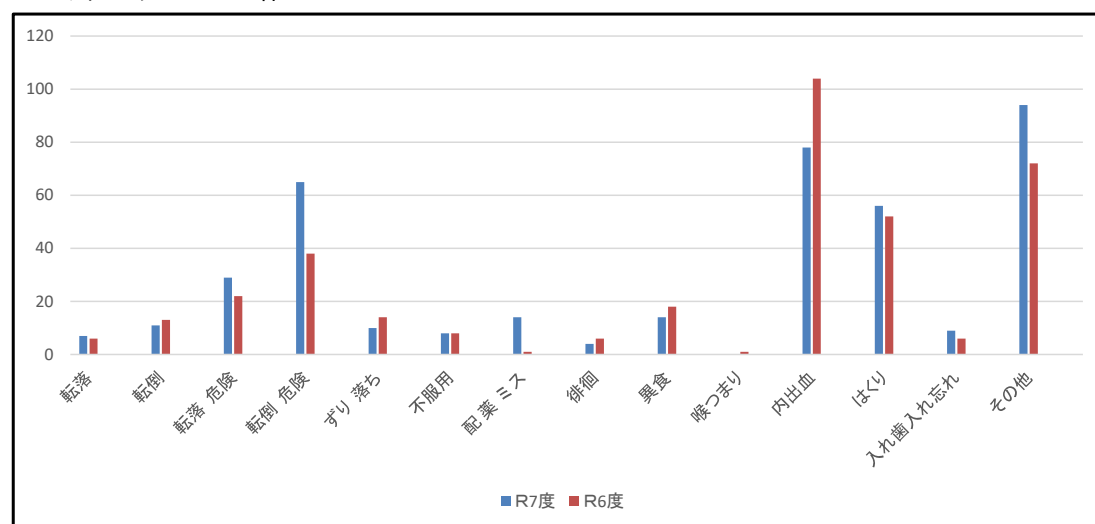
VI. 事故およびヒヤリ・ハット発生状況

○特養

1. 事故・・・ 9件(転落1件、転倒1件、誤薬4件、その他3件)

内容		令和年7度
転落	【概要】	認知症あり、車いす自乗する方。事故当日の19時頃ホールで過ごしており、トイレに向かって自乗する。前傾姿勢であったため、姿勢を正そうと本氏のほうへ向かうと、すでに床に倒れている状態で発見する。左眉付近から出血確認、しばらくすると腫脹してきたことから、左前額部を打ったことが判明する。Drメイトへ連絡し指示通りの対応行い、翌日受診する。
	【原因】	認知症あり、普段から車いすを自乗しているが、前傾姿勢になりやすく転落のリスクが高い方であった。普段から対策を講じてきたが、職員の少ない時間帯で他業務をこなしている中で、職員の死角に入ってしまった。
	【対策】	一人で見守りする時間帯の対応方法を再度見直し、全職員で徹底する。また、状態や職員の手薄な時間帯等に応じて安全な車いすを併用して使用する。リスクマネジメント委員会でも再度分析し関係部署に情報共有を行う。
誤薬 (4件)	【概要】	4件とも確認不足により起こった事故。また、それまでの過程においても何度もチェックするタイミングがあったが、チェック不足により誤薬に繋がってしまうケースもあった。。
	【原因】	①同名の利用者を間違えて逆に投与してしまったケースが2件 ②思い込みで投与してしまったケースが1件 ③配薬ミスが原因でそのまま投与してしまったケースが2件。
	【対策】	①名前が一緒の利用者の配薬ボックスの並び位置を変える。 ②③薬袋の名前を必ずフルネームで読み上げ、袋と本人を間違えないように徹底する。また、服薬直前には、他の職員に見てもらいながら「〇〇さん服薬します」等といい名前を読み上げながら服薬介助する。
その他 (2件)	【概要】	食事の異物混入ケースが2件あった。1件は、食後に口腔ケア中にでてきた黒紫色のゴム状のもので、結果は鶏肉の皮であった。(主食は鶏肉を扱ったものであった。)2件目は、食後1cm程度のフィルムの様なものを口の中で、もぐもぐしており、結果はラップの切れ端であった。
	【原因】	それぞれ刻み、ブレンダー食で、いずれも厨房で機械にかけた後の確認が不十分であったことにより起きた事故であり、委託業者の日清から検証結果報告あり。
	【対策】	苑の対策としては、食事介助する前に必ず目視で確認してから口に入れるようにすることを徹底する。
転倒 (デイ)	【概要】	自宅へ迎えに行く。玄関階段を自分で降りるため、職員は荷物を車に乗せるため玄関をでて歩き出したところ、後方で「ガシャン」と大きな音がした。確認すると本氏が頭部から出血した状態で倒れており、玄関戸のガラスが割れていた。本氏曰く、立ったまま靴を履こうとして前のめりに転倒したとのことであった。止血し、救急搬送する。
	【原因】	立ったまま靴を履こうとした。 独歩で安定した歩行ができ、いつも一人で靴を履くため、今日も大丈夫と思い込み、そばを離れてしまった。 靴のヒールがやや高いものであった。椅子や手すりがなく、ふらつく転倒しやすい環境であった。
	【対策】	いつでもできることでも常に転倒リスクを考え、ふらついたときに対応できる位置取りをする。 椅子に座って靴の脱ぎ履きをする。 靴はヒールの低い、歩きやすいものを使う。
その他 (デイ)	【概要】	本氏を車で自宅に送り届ける際、自宅近くの丁字路を右折しようとした所吹雪により視界が悪く、丁字路を通り過ぎてしまう。寺院前で方向転換し、坂の上方向から本氏の自宅へ向かって左折しようとするも、道の境目が雪で見えにくくなっており、左折途中で右側にある段差に右車輪が脱輪しそのまま転落。車体が180°回転する。送迎車より運転手が脱出し、本氏のシートベルトを外し車外へ救出する。
	【原因】	吹雪と積雪により道路と畑の境界が分かりにくい状況で視界が悪かった。
	【対策】	視界が悪く、道路と畑の境界がはっきりしないまま運転を継続してしまった。 吹雪の中視界が悪く、また積雪により道路と畑の境界がわかり辛い状況であった。

2. ヒヤリ・ハット・・・ 399件



	転落	転倒	転落危険	転倒危険	ずり落ち	不服用	配薬ミス	徘徊	異食	喉つまり	内出血	はくり	入れ歯入れ忘れ	その他	合計
R7度	7	11	29	65	10	8	14	4	14	0	78	56	9	94	399
R6度	6	13	22	38	14	8	1	6	18	1	104	52	6	72	361

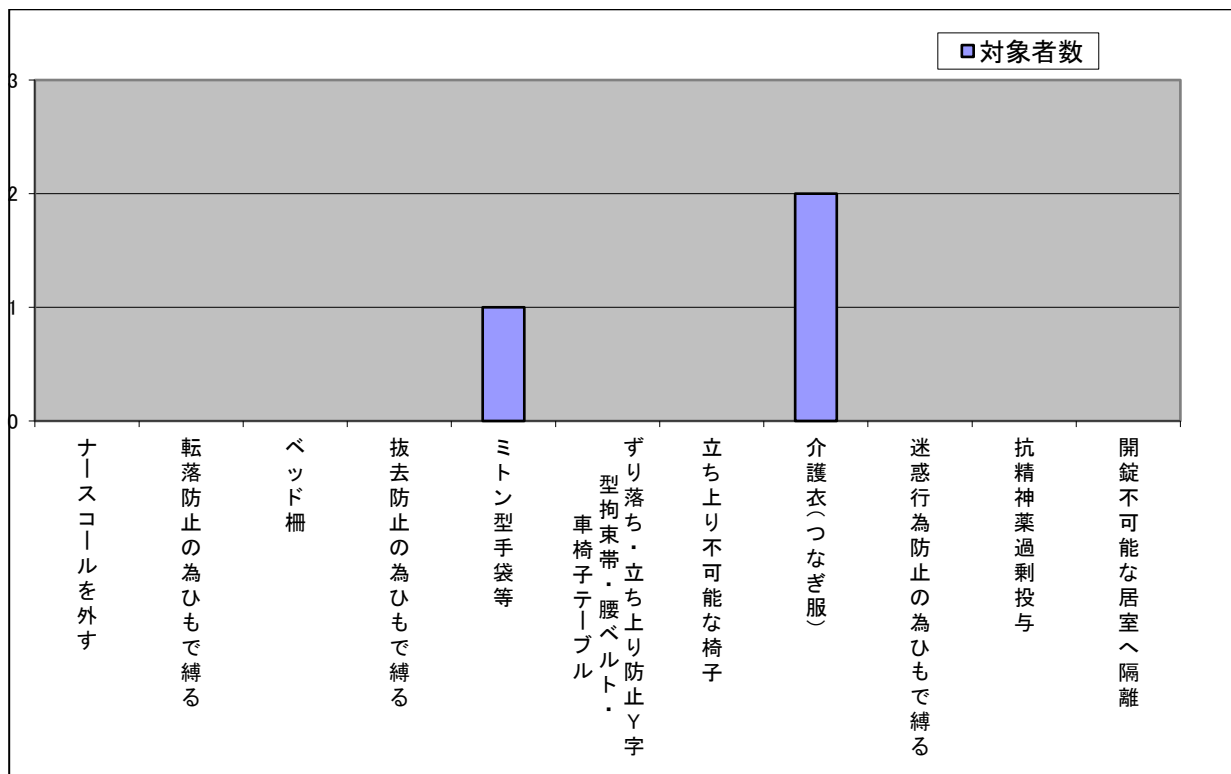
内容

転倒(危険)・転落(危険)	転倒・転落危険(転倒直前で発見するケース)が昨年度より増加した。原因としては、転倒・転落リスクを伴う新規入居者の対応に苦慮したことや、退院直後は状態が落ちていて徐々に戻ってくる過程で転倒・転落するリスクが出現するケースもあった。比較的同じ利用者に何度も転倒・転落のリスクが生じることが多く、都度対応を修正して臨み、修正していく度にリスクを軽減していき実際に転倒が起こらないように対策した。 また、併せて、転倒リスクを軽減することも目的の一つとして使用している「見守りセンサー」についての研修もおこなった。
配薬ミス	配薬ミスが昨年度に比べて増加した。普段から看護師二人でチェックし、さらに介護職員も二人でチェックするが、チェック漏れが目立った。原因としては、職員同士声を出して名前を読み上げることが不十分であったことが原因の一つとして上げられる。また、フロアに職員が一人になる時間帯に発生していることがうかがえる。 誤薬に関していうと、令和7年度は前半に発生(3件)していることが多く、その手前で防ぐ機能がヒヤリハット(配薬ミス)であるが、前半はヒヤリハットがほとんどでいていないため誤薬に直接つながったことも考えられる。

※今後、「不服用」については、リスクマネジメント委員会で協議した結果、内容がわかりにくいことと、「項目」に上げても成果としては少ないため、ヒヤリハットとして取り扱わないこととする。

VII. 身体拘束の状況

(令和7年度)



内 容	原 因	人数	備 考
つなぎ服	認知症がある方で、普段からオムツを触り便汚染することがあった。同室者に新型コロナウイルス感染者がでたことか、職員が対応できなくなり、感染対策期間のみ着用することとした。	2	
ミトン(手袋)	認知症のある方で、鼻をほじり出血している状態が続いたことと、皮膚のかゆみがあり体を掻くなどの行為が見られたことから、状態が完治するまでの間着用することとした。	1	

Ⅷ. 苦情受付状況

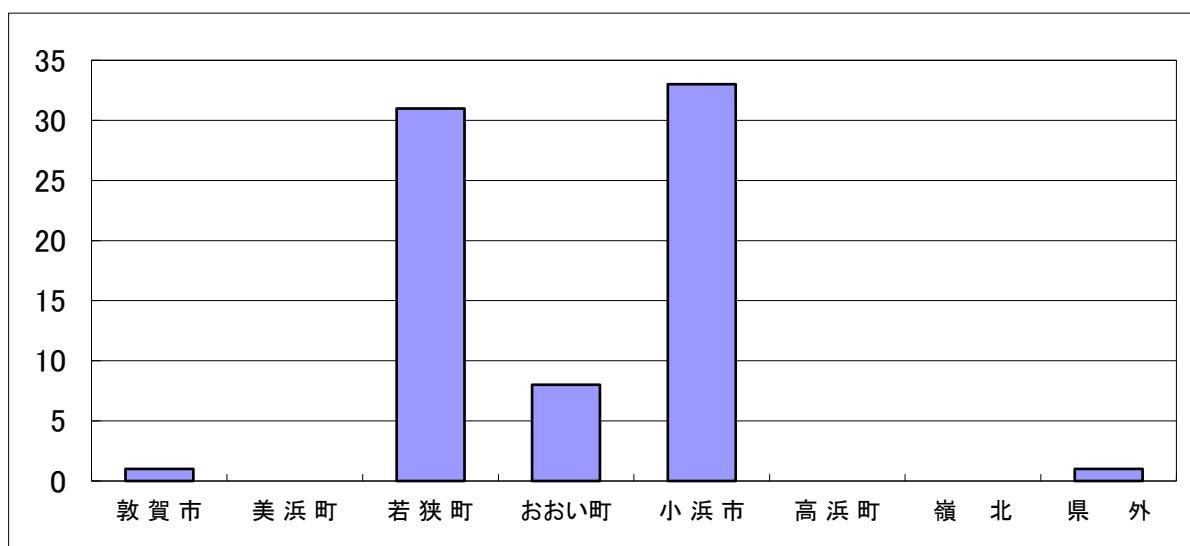
苦情受付 2件

令和7年度

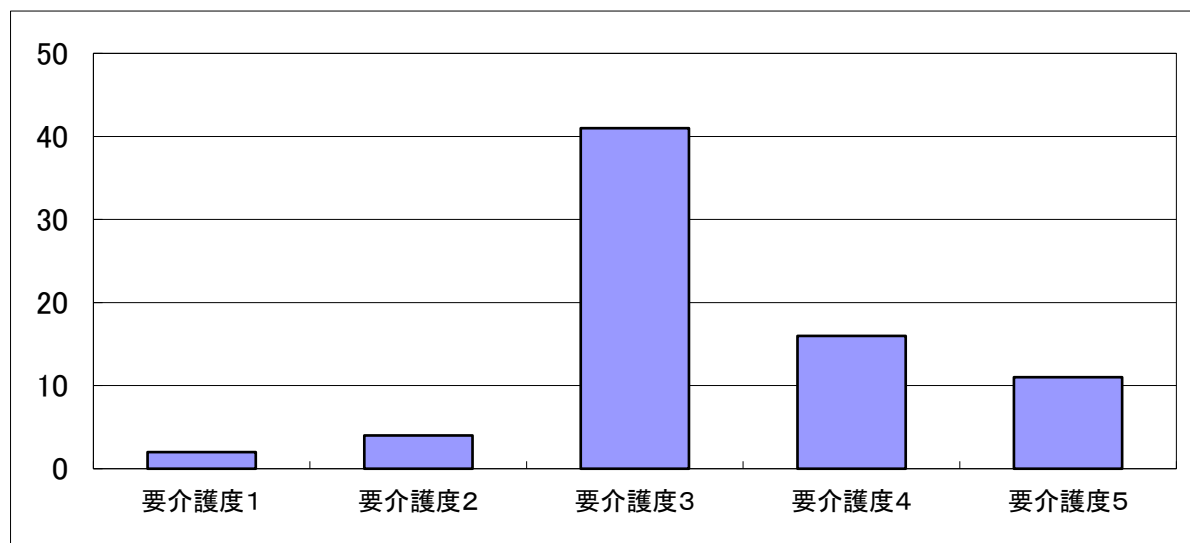
苦 情 内 容	対 応
『デイサービス』 膀胱炎でデイサービスを休まれた。翌日からショートステイを利用されるため、ご家族が苑に内靴を取りに来られた時、職員が「このことはケアマネは知っているのか」「この状態なら松寿苑のデイサービスは利用できない」などと言われたのとこと。 ご家族は、なぜこのように叱られるのか。また施設内での情報共有はできていないのかなどの不信を持たれた。	担当者としては、ご家族が思われるような言葉は伝えていないが、強い言葉としてとられてしまった。またショートが利用できないといけないとの心配の意図でもあった。 後日、担当者、副苑長ともに自宅へ訪問しご家族の意向を伺い謝罪した。ご家族からは、電話での謝罪で十分だが、苦情として今後繰り返さないよう対応が必要。
『居宅』 ご利用者から担当ケアマネに、訪問していない、ケアマネを変更してほしいとの苦情の連絡があった。その後、若狭町から説明の依頼があった。	経緯を若狭町に報告し、若狭町からご利用者へご説明いただいた。記録が曖昧であったこと、また、訪問時のサインがなかった(現状は不要となっている経緯あり)ことから、今後はサインをいただくこととする。また、苑内においても、毎月運用状況を確認し適正な運営に努めること報告し、謝罪した。

◎ 入苑待機状況
・市町村別

(令和8年3月31日現在)



・要介護度別



	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合 計
敦賀市	0	0	0	0	1	1
美浜町	0	0	0	0	0	0
若狭町	2	3	14	6	6	31
おおい町	0	0	2	4	2	8
小浜市	0	1	24	6	2	33
高浜町	0	0	0	0	0	0
嶺北	0	0	0	0	0	0
県外	0	0	1	0	0	1
合 計	2	4	41	16	11	74